

31期最初のつまづき・・・

30回定演は、大盛会で終演した。これは30期役員の力によるところが大きい、ロータス一丸で成し遂げた演奏会であるのだ。それも、2年生の力によるところも大きいと勝手に自負している。定演のソロはすべて2年生が取った。しかし、30回定演では、客演指揮ステージがあったため、副指揮者のステージがなかったのだ。副指揮者広尾@31は、高校時代に合唱経験はおろか指揮者経験までもあった実力派だった。これは副指揮者のみならず、31期としても悔しい思い出でもある。

今年は30回を超えるさらなる飛躍があるに違いないと確信していた。そして、そのときがやってきた。入学式2日前の4/6。突如、正指揮者広尾@31の父親が倒れたため、しばらく休部することになった。青天の霹靂とはこういうことをいうのだろう。ロータス最重要活動である新歓はすでに佳境に入るところである。

しかし、副指揮者山根@32は合唱経験もなく、いきなり正指揮者として活動するには難しい状況である。とにかく時間がない。しばらくは新歓は指揮者を前面に出さない戦術で乗り越えるしかない。とにかく、残った全員で何とかするしかないのだ！！この危機が発端か、この時代の意識か、4年生以上の出席率が飛躍的に上昇した。

しかし、合唱を見せることも重要だ。ある時は、ボイストレーナー大原先生をお呼びし、上月先生をお呼びし、イレギュラーながら29期指揮者江本さんに練習を付けてもらったりととにかく取り繕った。

その後、広尾@31が夏休み明けまで休部することが判明。ジョイントは副指揮者で乗り切ることが決定した。この後、様々な災難が降りかかるとは、私もこのときはまだ理解していなかった・・・

合唱フェスティバル 6月から10月開催に変更 ※1

6月にOSCA交換演奏会開催 ※2

ジョイントコンサートが広島大学グリークラブの離脱により3大学開催へ縮小
網浜合宿所（冬合宿）の工事使用不可

定演金曜日開催 ※3

※1 全国合唱コンクールが岡山で11月に開催された。開催者側のリハーサルとして合唱フェスティバルを10月に開催することになった。フェスはしっかり前期試験と重なり、コンクールはしっかり学祭と重なった・・・

※2 合唱フェスティバル10月開催となったため、副指揮者デビューステージ自分たちで作るしかなかった。急遽OSCAをそそのかし、いつものことだがロータス主導で演奏会を行った。

※3 シンホニーホール開館のため、市民会館が工事に入る。そのため、文化ホールに申込みが殺到し、市民団体以外は平日しか使用出来なくなった。

当時、とある先輩に言われた話だが、

「このまま復活しないこともあり得るとしたら、同期で別の指揮者を立てなければならぬんじゃないか？」

という恐ろしいアドバイスまで受けた。